

第1回 教育論文集編集準備委員会 議事録案

日時：2008年5月27日（火）12:00～13:30

場所：土木学会 C 会議室

出席者：道奥委員長、東委員、飯塚委員、木村委員、松村委員

欠席者：伊東委員、稗田委員、松本委員、清野委員、鷺見委員、田中委員

- 議事：1. 小委員会との連絡体制の確認
2. 創刊号の編集について
3. 編集作業分担について
4. その他

- 配付資料：資料1 教育論文集 作業分担
資料2 委員連絡票
資料3 教育論文集 編集小委員会構成（案）
資料4 教育論文集 創刊ロードマップ
資料5 教育論文集に関するご意見とそれへの対応
資料6 教育論文集 編集方針
資料7 教育論文集 編集小委員会内規
資料8 教育論文集 査読要領内規
資料9 教育論文集 投稿要領
資料10 教育論文集 投稿の手引
資料11 土木学会誌 2008年4月号の会告
資料12 教育論文集 投稿の流れ

1. 小委員会との連絡体制の確認

- ・小委員会との連絡担当者を確認した。（大学・大学院→堀、高等専門教育→伊東、高校→稗田、男女共同参画→松本、生涯学習→清野、産業界→東、土木と学校会議→松村、ED教育→木村、コンサルタント委員会→田中）

2. 創刊号の編集について

- ・創刊号の構成は、招待論文、小委員会からの選奨論文 5 本、自由投稿論文数本を目処に編集する。選奨論文、自由投稿論文は一般投稿扱いとする（査読つき）。
- ・創刊スケジュール（資料4）を確認した。論文原稿の〆切は当初案の通り9月末。
- ・創刊号から Jstage への掲載を検討する（飯塚委員が規定を確認）。あわせて掲載論文を土木学会の HP にアップするように検討する。

(1) 巻頭言

- ・ 創刊号の巻頭言を道奥幹事長から川島委員長に依頼する。
- ・ 教育論文集の位置づけ・趣旨に関する叩き台を木村委員が作成し ML にアップする。

(2) 招待論文

- ・ 招待論文の候補者 2, 3 名に道奥委員長が打診→結果を飯塚委員に連絡。
- ・ 招待論文としてフダノ先生（倫理）に木村委員が打診→結果を飯塚委員（ML）に連絡。

(3) 小委員会からの選奨論文（一般投稿論文）

- ・ 飯塚委員が松本委員、清野委員に創刊号への投稿意向を確認。
- ・ 木村委員が田中委員に創刊号への投稿意向を確認→結果を飯塚委員（ML）に連絡。
- ・ 各小委員会から創刊号へ投稿がある場合は、6 月末までに執筆者、仮タイトルを飯塚委員（ML）に連絡。
- ・ 学会内の他委員会に投稿依頼をする。投稿依頼文書を道奥幹事長が作成する。

(4) 自由投稿論文（一般投稿論文）

- ・ 学会誌 8 月号に案内、HP に詳細を掲載し、投稿を呼びかける。

3. 編集作業分担について

- ・ 土木学会論文集編集方針（資料 6）、内規（資料 7）を確認。

(1) 意見の集約・共有・・・飯塚

- ・ 編集担当の依頼をする。
- ・ その他、意見の集約、共有をすすめる。

(2) 編集担当・・・全員

- ・ 査読員の選定案、投稿論文の採否提案を行う。
- ・ 査読員は、編集委員 2 名（そのうち 1 名は編集担当（主担当）、外部査読員を 1 名の計 3 名とする。

(3) 要領内規、投稿要領、投稿の手引きの修正・・・東（取りまとめ）、田中、伊東、稗田、松本

- ・ 6 月末までに、論文集への投稿対象を広げる方向で、査読要領内規（資料 8）、投稿要領（資料 9）、査読要領内容（資料 10）を修正する。
- ・ 投稿要領（資料 9）4. 投稿原稿 i) 論文で「・・・有用な学術・技術成果や取り組み、・・・」→「・・・有用な成果や取り組み・・・」に修正提案があった。
- ・ 投稿要領、投稿の手引きは毎年修正可能。

(4) 広報（HP、学会誌会告への掲載）・・・木村、鷺見

- ・ 学会誌への会告案（趣旨、スケジュール等）を木村委員、鷺見委員が作成。6 月 10 日が 〆切。
- ・ 教育企画 HP を立ち上げる準備を行う（土木学会保坂さんに照会）。
- ・ 鷺見委員が小委員会の HP を作成する。委員会構成、編集方針、小委員会内規、フロー

チャート、スケジュールを、6月を目処にHPにアップする。

(5) 書式の作成・・・松村

- ・編集システムは作らない。やりとりは、E-mail（郵便）にて行う。E-mailの書式は、水工学論文集、土木学会論文集の審議書式を参考に、松村委員が作成する。

(6) その他

- ・清野委員は不測の事態に対応する。
- ・各作業指示を道奥委員長が行い、その後の意見の集約、共有は飯塚委員が担当する。

4. その他

- ・平成23年度に土木学会論文集が再編されるのにあわせて、教育論文集を土木学会論文集の一部門に移行できるように準備をすすめる。
- ・理事会にて、教育論文集に関わるCPDの認証について道奥委員長が確認する。
- ・論文賞は来年度以降に検討する。
- ・創刊号が出た後に全国大会のCSに出すかどうかを検討する。
- ・本日の小委員会資料は道奥委員長からMLに送付。
- ・次回は、10月の第1週で調整する。

記録：松村